

令和3年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学

代表学生：北澤 唯佳

指導教員：張 勁

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>SDGs の視点で富山の地下水を科学する～地下水年齢の把握と持続的地下水利用方法の検討</p>
<p>研究概要</p>	<p>富山県は年間降水量が全国トップクラスであり、地下水に恵まれている。しかし、水道や工業用として地下水を盛んに使った結果、近年魚津市では深層地下水の自噴量が低下している。そのため、地下水の流動状況の調査を行うことで、持続的な水利用の実現を目指す。</p>
<p>これまでの活動状況と今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>本研究では、富山県魚津市の片貝川扇状地を対象に河川水と地下水の現場調査および試料採取と分析を行う。これまでに1～2ヶ月に1度の頻度でサンプリングを行い、溶存成分、酸素・水素安定同位体、放射性同位体を分析し、地下水の水質、起源、流動状況の解析を進めてきた。今後は継続して試料採取と分析を続けるとともに、これまでに得た分析結果から地下水の年齢の試算や時空間的な流動状況のさらなる解析を行う。具体的には、放射性同位体をトレーサーとした地下水の循環速度や涵養量の解析とその季節変化の評価である。そして、現在の水賦存量に対する適切な地下水利用方法の検討をすることにより、持続的な水利用の実現へと繋げる。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	



片貝川上流の様子



地下水の現場調査の様子



溶存成分の分析の様子